

教 育 長 室

令和6年度 決算算特別委員会の総括質問について  
(教育長答弁)

総括質問 (14 問)

ゆうき くみこ委員 (自民党議員団)

- 20 高校生の留学支援について 【教育長室】  
23 公立中高一貫校設置の具体的な見込みについて 【先端教育担当】  
25 公私立・インターナショナルスクールを含む子どもへの支援について  
【教育長室】

七戸 じゅん委員 (みなと未来会議)

- 14 いじめの防止について 【教育指導担当】

白石 さと美委員 (港区保守系議員団)

- 3 こどもの権利教育について 【教育指導担当】  
6 港区いじめ防止基本方針について  
(1) 実効性ある具体的な取組について 【教育指導担当】  
(2) 重大事態対応策の在り方について 【教育指導担当】  
7 スクールドッグについて 【教育指導担当】

池田 たけし委員 (公明党議員団)

- 7 保育園・幼稚園と区立小学校との連携について 【教育指導担当】  
8 区立幼稚園の魅力向上のための幼稚園給食について 【学務課】

阿部 浩子委員 (立憲民主党議員団)

- 10 学校提案制度について 【学務課】  
11 海外修学旅行について 【先端教育担当】

福島 宏子委員 (共産党議員団)

- 7 熱中症から区民を守ることにについて 【生涯学習スポーツ振興課】  
12 私立学校等の保護者に対して給食費相当額を支給することについて  
【教育長室】

## 令和6年度 決算特別委員会の総括質問について

### 総括質問(14問)

委員名(会派名)	ゆうき くみこ 委員(自民党議員団)
質問項目 【担当課】	20 高校生の留学支援について 【教育長室】
質問要旨	選挙公約に高校生の留学支援と明記しているが、何をどのようにされていく予定なのかお聞かせください。
答弁内容	<p>教育委員会では、令和6年度から、高校生が海外留学や海外大学進学をより身近な選択肢として意識できるセミナーや、留学経験者から直接体験談を聞き、疑問点を直接質問できるシンポジウムを開催しております。また、今年度からは、海外大学の担当者と直接話せるブースを複数準備した海外留学フェアの実施を予定するなど、内容の充実を図っております。</p> <p>今後は、高校生を対象とした国内でできる海外留学の授業体験、資金面や語学対策等の相談体制などを構築し、海外留学や海外大学進学に興味を持つ高校生の背中を押す支援策を強化してまいります。</p>
質問項目 【担当課】	23 公立中高一貫校設置の具体的な見込みについて 【先端教育担当】
質問要旨	区として公立中高一貫校を実際に設置できる具体的な見込みはあるのか、あるとすれば、その候補地や時期の目安をどのように想定しているのか、教育長の答弁を求めます。
答弁内容	<p>教育委員会では、中高一貫校設置に向けて、中学校と高等学校が一体的に教育を行う中等教育学校や、教育課程の編成等の連携を行う連携型の中高一貫校などの具体的な設置形態等について、東京都教育委員会にも適宜設置手続等を確認しながら、丁寧に検討を進めているところです。</p> <p>今後は、8月に実施した中高一貫校に関するアンケート調査の結果を踏まえ、中高一貫校の設置形態、特色やコンセプト等を検討し、今年度末を目途に、港区が目指す中高一貫校の具体的な方向性をまとめてまいります。</p> <p>令和8年度には、設置候補地や連携先等を検討した上で、具体的な開設時期などをお示しする予定です。</p>
質問項目 【担当課】	25 公私立・インターナショナルスクールを含む子どもへの支援について 【教育長室】
質問要旨	現状では、私立やインターナショナルスクールに通う子どもたちへの支援があまりに不足しており、この不均衡を是正するべきです。教育長の考えを伺います。
答弁内容	<p>私立小中学校に就学する児童・生徒のほか、インターナショナルスクールに通う子どもたちが多いという地域特性を踏まえ、現在、インターナショナルスクールへのヒアリング等を進めております。</p> <p>子どもたちの状況を具体的に把握する中で、課題を明らかにしてまいります。今後、公立・私立小中学校やインターナショナルスクール等の就学環境に関わらず、子育て環境の充実につながる効果的な施策について検討を進めてまいります。</p>

委員名(会派名)	七戸 じゅん 委員(みなと未来会議)
質問項目 【担当課】	14 いじめの防止について 【教育指導担当】
質問要旨	区としての学校のいじめ防止の仕組みや情報共有について、教育長の考えを伺います。
答弁内容	<p>教育委員会では、いじめ問題対策会議を設置し、学校間の情報共有や取組の評価・改善を推進するとともに、重大事態への対応や関係機関との連携強化を図っております。</p> <p>また、各学校では、「学校いじめ防止基本方針」を策定し、未然防止・早期発見・迅速な対応の体制を整備するとともに、学校いじめ対策委員会を設置し、保護者・地域との連携のもと、情報の収集・記録・共有を組織的に実施しております。</p> <p>引き続き、教育委員会では、「いじめをしない！させない！見過ごさない！」を合言葉に、子ども家庭支援センターや児童相談所、区長部局、関係諸機関等が一体となり、全ての子どもたちの安全・安心な学校生活を実現してまいります。</p>

委員名(会派名)	白石 さと美 委員(港区保守系議員団)
質問項目 【担当課】	3 こどもの権利教育について 【教育指導担当】
質問要旨	今後子どもの権利教育を進める中で、どのように子どもが自らSOSを発信できる力を育んでいくのか。
答弁内容	<p>教育委員会では、区長部局と連携し、「こどもまんなか宣言」の理念のもと、子どもの権利を守り、全ての子どもが安心して成長できる環境づくりを進めております。</p> <p>現在、虐待やヤングケアラーに対する教職員の対応力向上のために、生活指導主任会において、子ども家庭支援センターや児童相談所と連携した研修を定期的の実施しております。</p> <p>また、子ども自身がその立場に気付き、助けを求める力を育むことが肝要であると捉えていることから、新たに子ども向けに虐待防止、ヤングケアラー支援への理解を深める資料を作成し、周知・啓発をしてまいります。</p> <p>引き続き、教育委員会では、学校・地域・関係諸機関が一体となって、子どもたちが、自らの状況を理解し、安心して声を上げられる仕組みをつくり、こどもの権利教育を一層推進してまいります。</p>
質問項目 【担当課】	6 港区いじめ防止基本方針について (1)実効性ある具体的な取組について 【教育指導担当】
質問要旨	区では、いじめ重大事態の申請方法及び申請様式を明確に定めること、また広く周知・公開を今後検討されているのか、伺います。
答弁内容	<p>教育委員会では「港区いじめ防止基本方針」に基づき、重大事態の疑いが生じた段階で、迅速かつ細やかな対応を行うことを定めております。</p> <p>現在、被害児童・生徒や保護者からの重大事態の申立については、学校や教育委員会事務局が個別に受け付けておりますが、今後、児童・生徒、保護者が安心して、申立をすることできるよう、窓口だけでなく、申立方法についても周知し、公開する予定です。</p> <p>引き続き、教育委員会では、区長部局と連携し、制度の実効性の向上に向け、速やかな検討を進めてまいります。</p>

質問項目 【担当課】	6 港区いじめ防止基本方針について (2)重大事態対応策の在り方について 【教育指導担当】
質問要旨	今後の区における、いじめ重大事態への対応の在り方について、教育長の見解を伺います。
答弁内容	<p>いじめ事案の対応では、学校が第一義的に児童・生徒に寄り添いながら、丁寧に対応することが重要であると考えております。</p> <p>また、重大事態が生じた場合に、学校や教育委員会だけでは対応しきれない案件にも、組織的に対応できるよう、現在、区長部局及び教育委員会の各関係部署が連携した会議体を立ち上げ、情報共有の仕方や報告のルールなど、具体的な取組について検討を進めております。</p> <p>さらに、児童・生徒はもとより幼児も対象として、いじめに類する事案が発生した場合に対応できるよう、年度内に「いじめ事態ガイドライン」を策定してまいります。</p> <p>今後、教育委員会は、一人ひとりの幼児・児童・生徒に寄り添い、安心して過ごせる環境を整える責任と、いじめに類する事案を自ら解決することに強い使命感をもち、全力をあげて取り組んでまいります。</p>
質問項目 【担当課】	7 スクールドッグについて 【教育指導担当】
質問要旨	今後子どもの権利教育を進める中で、どのように子どもが自らSOSを発信できる力を育んでいくのか。
答弁内容	<p>教育委員会では、不登校対策の一環として、子どもの情緒の安定や安心感向上等、様々な効果が期待されるスクールドッグを今月から、学びの多様化学校「Minato School」で先行導入し、昨日、私も見学をしてまいりました。</p> <p>スクールドッグとの触れ合いをとおして、生徒の表情が和らぎ、瞳が輝き、それを見た教員からも笑みがこぼれ、生徒からは、「次に会えるのが楽しみだ」「触れ合いをとおして友達とたくさん話すことができた」などの声が聞かれました。今後、アレルギー対策や安全面など想定される課題や効果を十分検証した上で、来年度は、小学校1校、中学校1校をモデル校として展開していく予定です。</p> <p>引き続き、教育委員会では、不登校児童生徒を含める全ての児童生徒が安心して登校できる環境づくりに取り組んでまいります。</p>

委員名(会派名)	池田 たけし 委員(公明党議員団)
質問項目 【担当課】	7 保育園・幼稚園と区立小学校との連携について 【教育指導担当】
質問要旨	今後、就学時健康診断など重要な学校行事について、小学校側が可能な範囲で日程情報を早期に発信し、保育園・幼稚園側と共有していく必要があると考えますが、教育長の見解を伺います。
答弁内容	<p>幼稚園・保育園と小学校間での行事日程の共有については、双方で確実な情報発信を早期に行う必要性を認識しております。</p> <p>小学校の様々な行事日程については、毎年4月に行われる保幼小連絡コーディネーター協議会で、就学時健康診断については、学校医との日程調整後、すみやかに幼稚園や保育園に情報提供し、共有することができるよう、各学校に働きかけてまいります。</p>

質問項目 【担当課】	8 区立幼稚園の魅力向上のための幼稚園給食について 【学務課】
質問要旨	区立幼稚園の魅力向上のための給食の実施と無償化について、どのように考えているのか、教育長に伺います。
答弁内容	区立幼稚園での給食実施や無償化については、本年6月に行った区民アンケートの結果や港区幼稚園教育振興検討会における意見、港区立幼稚園PTA連合会からの要望など、高い保護者ニーズがあることが明らかとなりました。 こうした区民ニーズや、すでに実施されている認可保育園における給食費無償化の状況等を踏まえ、区立幼稚園においても、給食のあり方や費用負担の軽減策について、検討を進めてまいります。

委員名(会派名)	阿部 浩子 委員(立憲民主党議員団)
質問項目 【担当課】	10 学校提案制度について 【学務課】
質問要旨	今年度の学校提案制度の事例を各学校に紹介し、この事業を周知していただきたいと考えますが、いかがでしょうか。
答弁内容	学校提案制度は、学校教職員からの現場の実態を踏まえた創意あふれる提案を実現させることで、児童・生徒の学習環境の向上と、学校現場の改善意欲の醸成を図る目的があります。 今後は、本制度で実現した取組について、校園長会などを通じて、提案の背景、実施までの準備、子どもたちへの効果など、各学校に周知・PRすることで、有用な事例を他校へ展開させるとともに、新たな気づきを得る機会を創出し、児童・生徒の学びの環境の更なる充実に取り組んでまいります。
質問項目 【担当課】	11 海外修学旅行について 【先端教育担当】
質問要旨	今後の中学校修学旅行について、令和9年度以降も引き続きシンガポールに行くのか、場所の変更をするなら、いつまでに方向性を出すのかお聞きします。
答弁内容	初年度の海外修学旅行は、生徒の英語学習への意欲の向上、異文化への理解の深まりなど、高い効果が確認できました。また、ある生徒は本事業を契機に、現地の高等学校に進学するなど、卒業後の生徒のキャリア形成にも大きな影響を与えております。 今年で2年目となった海外修学旅行も9月末に全校終了し、効果検証を行っております。前半校の終了時点で高い満足度やプログラムの改善効果などが確認できたことから、8月に開催した海外修学旅行あり方検討委員会での検討を踏まえ、来年度も継続実施する方向性を教育委員会として決定しております。 来年度前半校の終了後に開催予定の検討委員会において3年間の総括を行い、教育活動の位置づけ、海外修学旅行の実施効果や国内を含めた行先など、様々な視点での検討を行った上で、今後の方向性をお示しする予定です。

委員名(会派名)	福島 宏子 委員(共産党議員団)
質問項目 【担当課】	7 熱中症から区民を守ることにについて 【生涯学習スポーツ振興課】
質問要旨	運動施設、地域開放している学校等に暑さの見える化のために暑さ指数(WBGT)表示パネルを設置すること、施設に応じては設置可能な濡れないミスとシャワーを設置すること、小学生には接触冷感ランドセルシートや冷却パッドを無料で配布すること。答弁を求めます。
答弁内容	<p>まず、運動場の暑さ指数表示機器については、学校に設置済みの視認性の高い暑さ指数表示パネルへの変更を検討してまいります。</p> <p>また、ミスト装置についても、濡れにくい機器の選定や設置台数の拡充などを検討してまいります。</p> <p>小学生の登下校時の熱中症対策に関しては、水分補給はもとより、必要に応じて、水で濡らす冷却タオルや日傘の使用など、児童の通学環境に合わせ、各家庭で最適な対応を選択していただいております。</p> <p>一律に冷感接触ランドセルシート等を配布することは予定しておりませんが、引き続き、児童の安全確保を最優先に、登下校時の熱中症対策について必要な啓発を行ってまいります。</p>
質問項目 【担当課】	12 私立学校等の保護者に対して給食費相当額を支給することについて 【教育長室】
質問要旨	私立学校等どこに通っても分け隔てなく給食費相当額を支給すること。答弁を求めます。
答弁内容	<p>区立小・中学校の給食費負担は区が学校設置者として実施しておりますが、区立小・中学校以外の児童・生徒に対する給食費相当額の負担については、現時点では予定をしておりません。</p> <p>引き続き、私立小・中学校に通学する児童・生徒の学校給食費については国の責任において無償化を実施するよう、特別区長会等を通じて国に求めてまいります。</p> <p>今後も、子育て世帯への支援につきまちは、総合的な子育て支援のあり方の中で慎重に検討してまいります。</p>